

2014年3月期 第1四半期 決算補足資料

1. 連結決算の状況
2. 主要製品の売上の状況
3. 開発品パイプラインの状況

【参考資料】

4. 2014年3月期 第1四半期 セグメント情報
5. 2014年3月期 第1四半期 業績と予想

2013年7月30日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2014年3月期 第1四半期 決算概観(連結)



(単位:百万円)

	11年3月期 第1四半期	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	前年比	14年3月期 第2四半期 予想	前年比	14年3月期 通期予想	前年比
売上高	24,655	24,809	25,422	26,239	+3.2%	51,500	+7.4%	113,000	+5.6%
営業利益	2,216	4,100	4,080	4,465	+9.4%	6,700	+6.9%	18,600	+3.6%
経常利益	2,421	4,300	4,351	4,681	+7.6%	7,000	+5.9%	19,200	+2.8%
当期純利益	1,799	2,697	2,838	2,996	+5.6%	4,600	+7.1%	12,700	+2.2%

14年3月期 第1四半期 連結業績(実績)

【売上高】

医薬品事業における新医薬品、後発医薬品がともに前年度を上回る実績となりました。また、昨年10月より事業を開始したキョーリン製薬グループ工場の売上も寄与し、連結売上高は262億39百万円(前年比3.2%増)と増収になりました。

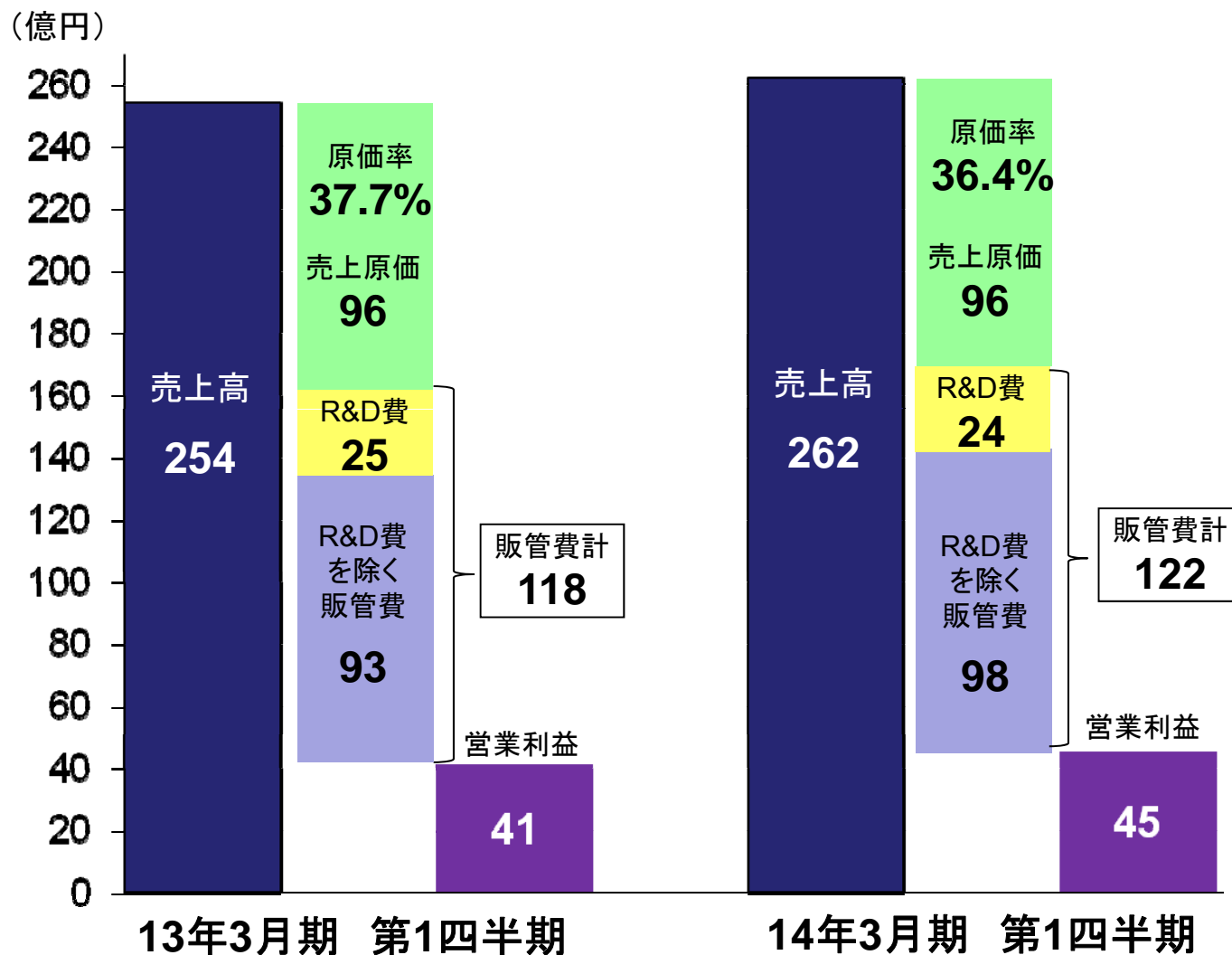
【利益】

販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は増加しましたが、売上原価率の低減等による売上総利益の増加により吸収し、営業利益は44億65百万円(前年比9.4%増)と増益になりました。また、当四半期純利益は29億96百万円(前年比5.6%増)となりました。

14年3月期 連結業績(予想)

2013年5月9日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現段階では変更いたしません。
(第2四半期予想に対する進捗度 売上高:51.0% 営業利益:66.6%)

2014年3月期 第1四半期 業績のポイント



ポイント①

➤売上高は8億円増加

ポイント②

➤売上原価額は横ばい

➤原価率は1.3%低下

- ・新医薬品の原価率低減
- ・後発医薬品の原価率低減

➤売上総利益は9億円増加

ポイント③

➤販管費は4億円増加

- ・一般経費の増加
- ・R&D費は1億円減少

営業利益は4億円増加

2014年3月期 第1四半期 業績の状況

(単位: 億円)

	13年3月期 第1四半期	14年3月期 第1四半期	対前年
売上高	254	262	+8
医薬品事業	249	258	+9
◆新医薬品	213	222	+9
○国内	206	216	+10
○海外	7	6	-1
◆後発医薬品	26	27	+1
◆一般用医薬品他	10	9	-1
ヘルスケア事業 (スキンケア)	5	4	-1
営業利益	41	45	+4
経常利益	44	47	+3
当四半期純利益	28	30	+2

■売上高	262億円			対前年 (+ 8)
◆医薬品事業	258億円			(+ 9)
●国内新医薬品	216億円	13.3(1Q)	14.3(1Q)	(+10)
・キプレス		88	⇒ 87	(-1)
・ウリス		19	⇒ 19	(0)
・ムコダイン		46	⇒ 45	(-1)
・ペンタサ		45	⇒ 47	(+2)
・キョーリン製薬グループ工場の売上寄与				
●海外新医薬品	6億円			(-1)
・ガチフロキサシン		7	⇒ 5	(-2)
●後発医薬品	27億円			(+1)
使用促進策等により売上増加				
●一般用医薬品他	9億円			(-1)
◆ヘルスケア事業	4億円			(-1)
●ドクタープログラムの売上減少				(-1)
■営業利益	45億円			(+ 4)
◆営業利益率は17.0%と前年比1.0ポイント上昇				
●原価率:36.4% 前年比1.3ポイント低下 (37.7%⇒36.4%)				
・新医薬品の原価率低減(導出品のロイヤリティー収入増加等)				
・後発医薬品の原価率低減(追補品、重点品の売上増加)				
●研究開発費率:9.1% 前年比0.6ポイント低下 (9.7%⇒9.1%)				
* 25億円 ⇒ 24億円(1億円減少)				
●販管費率(除R&D費):37.4% 前年比0.9ポイント上昇 (36.5%⇒37.4%)				
* 93億円⇒98億円(5億円増加) 一般経費の増加(本社移転費用、特許等使用料他)				
■当四半期純利益	30億円			(+ 2)

2014年3月期 第1四半期 主要製品売上の状況



(単位:億円)

製品名		第2四半期		通期		第1四半期(4月~6月)				
		13年3月期 実績	14年3月期 予想	13年3月期 実績	14年3月期 予想	13年3月期 実績	14年3月期 実績	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	163	177	396	408	88	87	-1.0%	48.9%	21.2%
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	83	80	191	187	46	45	-3.0%	56.0%	24.0%
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	90	93	176	186	45	47	+2.4%	49.5%	25.0%
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	36	39	75	84	19	19	+2.3%	49.1%	22.9%
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	15	13	30	27	8	8	-1.5%	56.6%	28.4%
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	9	9	16	16	7	5	-19.5%	55.3%	31.9%
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	10	20	21	5	5	-4.9%	44.3%	21.9%

ガチフロキサシンはライセンシー向けのバルク売上とともに、ライセンシーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上を計上いたしております

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	13年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 通期 実績	14年3月期 通期 (予想)
売上高	230	233	959	1,000
営業利益	41	41	171	177
当期純利益	29	30	119	124

キョーリンリメディオ	13年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 通期 実績	14年3月期 通期 (予想)
売上高	27	29	104	115
営業利益	0	2	4	4
当期純利益	0	1	5	2

ドクタープログラム	13年3月期 第1四半期 実績	14年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 通期 実績	14年3月期 通期 (予想)
売上高	5	4	19	17
営業利益	-1	1	-2	1
当期純利益	-1	1	-3	1

開発品一覧①(2013年7月30日現在)

PhⅢ ～承認

※:前回(2013年3月期 5月9日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (12年9月)	(アメリカ) スカイファーマ :申請(09年3月) (欧州) ムンディファーマ :上市(12年9月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	吸入ステロイド薬(ICS:フルチカゾン)及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社とライセンス契約 (08年4月) 国内PhⅢ終了(12年3月)
PhⅢ (12年9月)	(欧州) アルミラール社 :上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 :上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器:Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年4月)		キプレス (チュアブル錠、 細粒)	気管支喘息治療剤	米国 メルク社	小児:アレルギー性鼻炎	新効能・効果 MSD(株)との共同開発

※潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤1g」: 2013年6月発売

※過活動膀胱治療剤「ウリトス」: 2013年7月韓国で発売(鐘根堂)

開発品一覧②(2013年7月30日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2013年3月期 5月9日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (12年5月)	(欧州) アルミラール社:Ph III (アメリカ) フォレスト社:Ph III	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

【参考資料】

2014年3月期 第1四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	262	+8	45	+4
医薬品事業計	258	+9	43	+2
◆新医薬品	222	+9		
○国内	216	+10		
○海外	6	-1		
◆後発医薬品	27	+1		
◆一般用医薬品他	9	-1		
ヘルスケア事業計	4	-1	1	+2
調整額	-	-	1	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

【参考資料】

2014年3月期 第1四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	第2四半期		通期		第1四半期(4月~6月)					
	13年3月期 実績	14年3月期 予想	13年3月期 実績	14年3月期 予想	13年3月期 実績	14年3月期 実績	前年差額	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
売上高	47,954	51,500	107,031	113,000	25,422	26,239	+816	+3.2%	51.0%	23.2%
医薬品事業	47,034	50,800	105,162	111,300	24,921	25,801	+880	+3.5%	50.8%	23.2%
◆新医薬品	39,684	43,500	90,686	95,600	21,331	22,215	+883	+4.1%	51.1%	23.2%
○国内	38,661	42,300	88,286	93,500	20,586	21,582	+995	+4.8%	51.0%	23.1%
○海外	1,023	1,200	2,400	2,100	745	633	-112	-15.1%	52.8%	30.2%
◆後発医薬品	5,056	5,100	10,095	11,100	2,635	2,686	+51	+1.9%	52.7%	24.2%
◆一般用医薬品他	2,292	2,200	4,379	4,600	953	899	-54	-5.7%	40.9%	19.6%
ヘルスケア事業	920	700	1,869	1,700	501	438	-63	-12.7%	62.6%	25.8%
営業利益	6,269	6,700	17,948	18,600	4,080	4,465	+385	+9.4%	66.6%	24.0%
経常利益	6,609	7,000	18,676	19,200	4,351	4,681	+330	+7.6%	66.9%	24.4%
当期純利益	4,295	4,600	12,422	12,700	2,838	2,996	+158	+5.6%	65.2%	23.6%